

第53回特別展

薔薇色のソネット

マリー・ローランサン展

1996年は、ローランサンが1956年6月に72歳で亡くなってからちょうど40年目に当たりました。これを記念し、また震災で大きな痛手をうけた方々への復興支援として、世界で唯一のローランサン作品の常設館であるマリー・ローランサン美術館（長野県蓼科）の全面的な協力を得て、その所蔵品の中から油彩50点、デッサン10点、版画60点の代表作120点を選び、50年に及ぶ初期から晩年に至る画業を振り返るとともに、ローランサンの詩情豊かな薔薇色の世界を紹介しました。

会期／平成8年7月6日（土）～9月1日（日）

会場／特別展示室1、南蛮美術館室

主催／神戸市立博物館、神戸新聞社、サソテレビジョン、AM神戸

後援／兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会

協賛／みどり銀行文化振興財団

協力／マリー・ローランサン美術館

開催日数／50日

入館者数／66,684人（1,334人／日）

出品件数／121点（油彩50点、デッサン版画71点）

